

地域ボランティアプログラム② みなみおおさまカフェプログラム

「みなみおおさまカフェ」

2018/10/9

10月9日（火）「みなみおおさまカフェ」
～本日のイベント～

10：00～ カフェタイム

10：30～ 美味しいコーヒーの入れ方
(首都大学東京 齋藤志恩さん)

11：00～ ヘルプマーク知ってますか？
(首都大学東京 篠崎ひかるさん)

12：00 閉会

10月9日（火）、南大沢キャンパス国際交流会館1階のロビーにて、「みなみおおさまカフェ」が開催され、本プログラムから5名の学生が運営ボランティアとして参加しました。

10時から始まるみなみおおさまカフェに備え、「カフェ」「外設営」「会場設営」「企画」の各担当ごとに集まり、順次準備を始めていき

ました。「外設営」では、学内の指定箇所にのぼりを立てるのですが、担当している学生と地域の方々を楽しそうにお話しをしながら、学内を歩いたり、のぼりを設置したりしていました。カフェにいらっしゃる方々だけでなく、運営として関わっている地域の方々と学生のつながりができており、毎回の活動で顔を合わせることが1つの楽しみになっているようです。

カフェタイムでは、いつものカフェと同様に、学生と地域の方々と同じテーブルを囲んで、お話しをしました。今回初めてカフェの活動に参加した学生もあり、初めは不安そうな表情をしながら地域の方とお話していましたが、時間が経つにつれ、少しずつ打ち解けることができました。カフェが終わる頃には、会話が盛り上がり、お互いに自然な笑顔で話している様子が印象的でした。



▲各テーブルに入り、地域の方々と一緒に話す学生

今回のカフェ運営では、10月から後期の授業が始まったことにより、授業の時間とカフェの時間が重なってしまい、これまでのように長い時間カフェの運営に関われなくなってしまった学生もいました。しかし、カフェの準備に参加した後に2限の授業へ向かったり、1限の授業を受けてからカフェに参加したりと、短い時間ながらも積極的に活動する学生がおり、カフェ運営に少しでも関わりたいという思いが感じられました。

～参加した学生の感想～

「最初に入った席では、先輩と一緒に会話を聞くような形でしたが、クッキーを配ったあとに入った席では、自分から話題をふることができました。特に、首都大の改名や大学祭についての話で盛り上がったように感じました」



▲大会議室で「ヘルプマーク」のお話を聞いている様子